



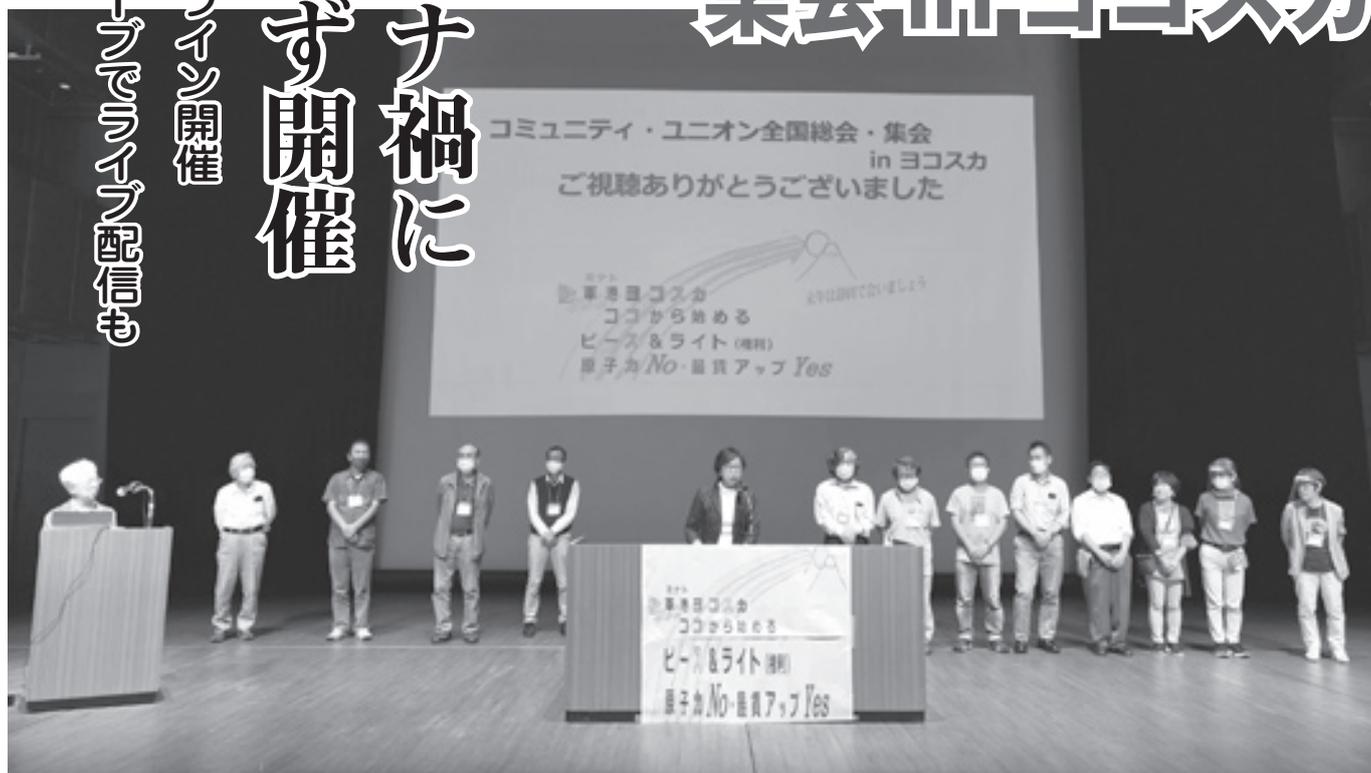
東京都江東区亀戸 7-8-9
松基ビル 2 F 下町エサ内
TEL 03-3638-3369
FAX 03-5626-2423

全国ネット総会 & 集会 in ヨコスカ

コロナ禍に 負けず開催

初のオンライン開催

YouTubeでライブ配信も



集会会場のある建物の敷地は、元アメリカ海軍の下士官兵集会所（通称EMクラブ）の跡地。直近の駅は、戦前「横須賀軍港」駅と呼ばれた駅。目の前に広がるのは、アメリカ海軍と海上自衛隊の基地。神奈川の実行委員会がこの会場を選んだ理由が、このことからわかる。

今年に入って拡大した新型コロナの感染。外出の自粛が始まり、労働組合の集会や行動も次々中止される中、今まで通りの「全国交流集会」の開催は無理。中止か延期という意見も出される中、日程を短縮し、遠方からの参加者は代表者1名を基本し、総会と神奈川の企画を行い、オンラインでの参加も準備す

9月26日、第32回コミュニティ・ユニオン全国総会・集会inヨコスカが、ヨコスカベイサイドポケットで開催されました。

新型コロナの感染拡大を受け、参加規模や日程を縮小しての開催でした。あいにくの雨模様の中、ユニオン仲間137名が参加しました。

準備を担った実行委員会事務局の方々や、当日集会に参加された皆さんの感想をお伝えします。

る（交流レセプションは行わない。オプションとして翌日の「軍港めぐり」は行う。）ということが5月の運営委員会で確認された。

当日、ユニオンヨコスカの司会で始まった総会は実行委員会、全国ネット、それぞれの共同代表挨拶の後、参加できなかった「韓国非正規職労働団体ネットワーク」のビデオメッセージが上映され、オンラインやビデオ映像などを利用して会を構成するという今年の取り組みを象徴する形でスタートした。オンライン参加者も含めて採択された今年度の活動方針では、「コロナだからとあきらめないで、一緒に声をあげよう」をスローガンに、最低賃金の引き上げ、解雇や雇い止めとの闘い、労働相談や組織の拡大、などが確認された。組織体制では、共同代表は昨年度と同じ4人。運営委員では、おきたまユニオンと名古屋ふれあいユニオンで世代交代があり、広島からの選出を含めて3人が新しく選任された。また、会計担当は事務局次長という整理もなされた。

参議院議員の福島みずほさんからオンライン（ZOOM）で御挨拶をいただき、4団体の争議特別報告に入った。名古屋ふれあいユニオンの碧海工機分会、はりまユニオンの藤興業分会、女性ユニオン東京のジャパンビジネスラボの3つの報告はオンラインで、よこはまシティユニオンの横浜ラポールの報告は会場で行った。オンライン参加のユニオンには、オンラインで継なぐことに不慣れなユニオンもあったが、事前の練習に協力してもらい、トラブルなく総会を終了することができた。

第2部は神奈川企画の集会。講談にのせ、ヨコスカの運動の歴史を紹介した後、500回を超える月例デモを積み重ねてきた「よろずピースバンド」の演奏、「非核市民宣言運動・ヨコスカ」の新倉さんの講演、神奈川の運動紹介を映像をバックに行



講談で、神奈川の運動の歴史を紹介する費川由美子さん（女のユニオン・かながわ）

い、神奈川労働弁護団のパフォーマンスと挨拶と続いた。会の締めくくりは、「集会宣言」採択、来年の開催地静岡の挨拶、実行委員会の共同代表の閉会挨拶、手話での静かな「団結ガンバロー」で行った。

ZOOMでの双方向通信、ユーチューブでのライブ配信、そして美しい映像撮影は「横浜市民放送局」に全面的に協力いただいた。総会・集会の映像記録はユーチューブで今も見る事ができる。

<https://www.youtube.com/watch?v=fRduXJ99TgU>

雨が降る中、オプションの夕食会参加者（90名）はどぶ板通りを歩いて米軍基地正面ゲートのハス向かいにある会場に移動。着席で食事をしながら「じん肺・アスベスト患者・家族の会」や労働政策研究・研修機構の呉学殊さん、中野麻美弁護士の挨拶を受け、2つの争議の訴えを聞き、簡単な参加者の自己紹介で交流した。翌日は、「平和船団」から事前レクチャーを受けた上で、軍港めぐり船に乗船（45名）。来月の日米共同訓練のため佐世保からも船が来ており、日本の護衛艦や潜水艦、米軍のイーグス艦、基地施設などを見て、基地の現状を実感した。地元ユニオン組合員をはじめ、地区労センター、市民団体、横浜市民放送局などたくさんの人に支えられ、コロナ禍でのユニオンの決意、平和問題の大事さを発信することができた2日間だった。

【日和田典之／集会実行委員会事務局】



御礼のご挨拶

い の う え は じ め
集会実行委員会共同代表 井上 啓 弁護士 (横浜法律事務所)

コロナウィルス感染防止のため、規模を縮小して開催することとなった今回の集会ですが、ヨコスカ現地会場とオンラインを併用して無事行うことができ、みなさまには大変感謝しております。また、平安閣での夕食会も100名近くの方にご参加いただきました。

今年は労働組合の大会も多くがオンラインとなる中で、全国からたくさんの仲間たちが一堂に集まり、懇親を深めることができたことは大変意義深いものがあると思います。人と人とのつながりを何よりも大切にするのが「ユニオン活動」の原点であるとあらためて感じました。

2020年は春の学校の一斉休校、自粛・休業要請、海外との交流ストップ、会社に行かないテレワークなど社会が一変しました。コロナウィルス感染が収まらない中で、労働環境はますます厳しくなっ

ています。安倍総理の突然の退陣から菅政権が誕生しましたが、日本学術会議の会員任命拒否問題からも分かるように、権力に逆らう者は排除するとの姿勢も継承しています。また、竹中平蔵を「成長戦略会議」の民間有識者委員に採用し、規制緩和・雇用流動化の名のもとに「首切り・リストラ」も容認してきます。その意味では、ますます一人の労働者も見捨てない、みんなで助け合う全国のコミュニティ・ユニオンの活動が大事になります。来年の静岡全国交流集会に向けて、大いに奮闘し、また元気に再会できるよう頑張りましょう。



オンライン配信担当



軍港見学乗船前のレクチャー担当



感染予防対策した受付担当



総会の議長団



資料の袋詰め作業担当

経験とネットワークで困難乗り越えて開催

おおすがけいこ
集会実行委員会共同代表 大須賀啓子さん (神奈川ユニオン協議会代表)



今年のヨコスカ集会は、コロナ禍のもとでも双方向でのやりとりが可能ということが実証でき、今後に向けて一つの成果と考えます。基地の町ヨコスカから全国の仲間はその活動を伝えることがで

行することが確定し、今度は、それがうまくできるか、とりあえず、一方通行の配信でいこうということに。しかし、「民主的な組織の総会である。双方向でなければおかしい」の声も。やっぱり双方向のオンラインか。「えっ！マジ！うまくいくかよ？」この際プロに任せよう、と頼んだのが「横浜市民放送局」。結果は、やっぱりプロに任せて正解でした。とにかく今回はコロナとオンラインに振り回されっぱなしでした。

きたか、それは参加者の受け止め方次第ですね。

昨年暮れの段階では従来通りの規模の集会を想定して、会場・宴会場の確保やプログラムの内容を準備していたのだけど、年が明け、徐々にコロナの影響を考慮せざるを得ない状況に陥り、個人的には開催を断念することも「あり」という気分にもなっていました。

5月の運営委員会で、それでもオンラインで決

困難にあっても、色々な方々の協力を得て乗り越える、経験とネットワークが神奈川の力です。でも課題が見えてしまいました。夕食会で2003年に開催した横浜集會時の事務局長と同席して、当時の写真集を見せていただきました。そこには女も男も若く、エネルギッシュな写真が満載。そのまま17年が過ぎてしまったのです。若手の登用、神奈川の課題です。

- ・例年、「各地の闘争報告」が遅れ気味になりますが、今回は時間通りで良かった。
 - ・期待以上に充実した内容で、参加者をとっても楽しませてくれました。とても良かったです。
 - ・休憩が多すぎた。参加者が話し合える機会が欲しかった。
 - ・困難な条件の中で素晴らしい集会だった。
 - ・コロナ禍での新しい活動のスタイルを作りだしたと思います。新しいイメージを開いたと思います。
 - ・ユーチューブで2回見ました。ヨコスカのメンバーが生き生きとしてました。新倉さんの講演も大変良かった。
- その他
- ・コロナ禍での集會運営、本当にご苦労様でした。現地実行委のご苦労が伝わる素晴らしい集会でした。
 - ・何事も継続ですね。ご苦労さまでした。
 - ・リモートでこんな集會もできるんだと思いました。
 - ・途中休憩が2度あったのは体力的に助かりました。
 - ・現地実行委の皆さまご苦労様でした。もっと多くの仲間に見せたかったです。
 - ・バックヤードの技術支援も素晴らしかった。まったく画像や音声は乱れず、さすがでした。
 - ・ヨコスカには初めて来ました。米軍との距離が近く、反戦運動の違いを感じましたが、根っこは同じですね。米軍の我が物顔を実感しました。



労働運動と市民活動の共闘を

集会で講師を務めた

にいくらひろし

新倉裕史 さん (非核市民宣言運動・ヨコスカ)

コロナ禍の困難な状況でしたが、行き届いた配慮の中、開催にこぎつけた皆様に心からの敬意を表します。受け入れ団体となった神奈川のユニオン関係の皆様とは準備の過程で一緒に過ごす機会も多く、ご苦勞を肌で感じていましたので、無事全国集会が開催されたことを共に喜びたいと思います。

神奈川の皆さんは、昨年から月例デモにも多く参加され（今年は中止が多かったですが）、反基地運動の現場で、集会参加を呼び掛けてきました。6月には神奈川の全基地の実態を知る事前学習会も開催し、1年を通したていねいな準備があったことも、書き留めておきたいです。

分断と格差の時代にあって、ユニオンの活動はますます社会から求められています。全国各地で、求めに応えた活動が「元気」に行われていることを再確認できた全国集会でした。

その活動報告のなかで、「反戦・平和」が繰り返し語られたことも、私たちには大変心強く、励まされる思いでした。また、神奈川の運動報告の中で、「横須賀ピース・フェスティ



バル」の35年を、労働運動と市民活動の共闘に力点を置いて紹介されたことも、嬉しかったです。

敵基地攻撃能力の保有が画策されていますが、イージス艦の増艦もあわせて、横須賀がその現場である事実を皆さんと共有しながら、これからもいっしょに頑張っていければと願っています。ありがとうございました。

参加者の感想

アンケートより抜粋

■全国ネット総会について

- ・地元での闘いを頑張ります。
- ・全国のユニオンの取り組みをつないでいくことを通じて一つの大きな力になっていくことを感じました。
- ・規模縮小しても開催できて良かった。
- ・コロナ禍の中でも全国的な運動の進展や現状の確認をして、次に向けての意志一致をしたことは良かったと思う。ユニオンの闘いが役立っていると思う。

■集会について

- ・県全体の取り組みがよく理解できました。
- ・リモート技術の貢献があつて良かった。いろんな取り組みが紹介されていて充実していました。
- ・神奈川の取り組みやその歴史に感動しました。分科会がやれず残念でしたが、全国の仲間の闘いにも触れることができました。
- ・神奈川労働相談ネットワークなど具体的に実践的な取り組みは神奈川の力だと思いました。
- ・オンラインもうまくいったと思います。集会の中にバンド演奏があつて和みました。
- ・発表が講演形式で、飽きることなく楽しく勉強できました。
- ・新倉さんの講演は、何となくしか知らなかったことを詳しく知ることができ、まさにここでしか聞けない話を聞けたと思います。

集会宣言

2020年、世界を襲った新型コロナウイルスの感染拡大は、社会のあり方をも一変させようとしている。経済成長を追い求めるあまりの環境破壊、急速な経済のグローバル化など、根本的原因が指摘されているが、このコロナ禍を乗り越えるため、と真っ先に犠牲にされているのが、非正規労働者であり、外国人労働者である。

「こういう時のために、非正規労働者を増やし、外国人を雇ってきた。先に首を切るのは当たり前」と言わんばかりの経営者達は、非正規労働者や外国人労働者が、同じ人間として、幸せに生き、家族と共に生きる権利を持つなどとは、考えてみたことすらないのだ。今こそユニオンが立ち上がって、その存在と力を思い知らせよう。

日本にも蔓延したコロナ禍での労働者の闘いは、まさに、生きるための、命を賭けた闘いにならざるを得ない。一人でも、誰でも入れる労働組合、コミュニティユニオンが、まさに真価を問われる時なのである。

新型コロナの感染が拡大した時、ユニオンの活動も、感染防止の観点から一時縮小を余儀なくされた。しかし、ユニオンとしての活動が最も必要とされる今、各地のユニオンは、工夫を凝らして、前に進み始めている。

飲食や観光業など、特に中小企業が苦しんでいるのも事実である。しかし、一方的に労働者に犠牲を押し付けることは許されない。必要なのは、菅新政権が言うような「自助」ではなく、生きるために掲げる「むしろ旗」なのである。

私たちコミュニティ・ユニオン全国ネットワークは、コロナ禍で困難な中、ここヨコスカに結集した。参加がかなわなかった仲間は、オンラインで参加した。会場の目の前には、アメリカ海軍と海上自衛隊の基地が広がっている。米海軍の原子力空母ロナルド・レーガンはここを母港とし、空母に改装された自衛隊の「いずも」も帰ってくる。米海軍と自衛隊の一体化が進み、海外で日米が協力して戦争をする体制が整えられつつある。戦争ができる社会、イコール、労働者・市民の自由が奪われる社会である。敵基地攻撃など、憲法違反の軍備拡張は、破滅への道である。

本集会で私たちは、ここヨコスカで、長年市民と労働者が積み重ねてきた運動の歴史を見た。なにをおいても平和を守る。「平和なくして労働運動なし。労働運動なくして平和なし」。全国に帰って、反戦・平和への取り組みを、さらに強めて行こう。

コロナ禍の犠牲押し付けを許さない。戦争ができる国にもさせない。格差や差別のない新しい社会を作るため、私たちコミュニティ・ユニオンはその先頭に立ち、全力を尽くすことを決意し、ここに宣言する。

2020年9月26日

コミュニティ・ユニオン全国総会・集会 in ヨコスカ参加者一同

来年は静岡でお会いしましょう！

第33回全国交流集会は、2021年10月下旬～11月前半の土日、静岡県静岡市で開催されます。

新任

新しい運営委員

ごあいさつ

塚原久雄さん



事務局次長兼会計担当の武庫川ユニオンの塚原です。財政と人材はユニオン共通の問題で、武庫川ユニオンも苦労しています。最近は名古屋ふれあいユニオンの活躍が目覚ましく、あっという間に組合員数で追い越され、専従体制も強化されています。名古屋

に学び、追いつけ追い越せで頑張りたいと思います。

さて、最賃引上げや同一労働同一賃金の実現、労働法改悪反対など労働者全体の共通課題は、大きな運動を作らないと前進しませんし、全国ネットだけでも難しい。大きな運動を展開できるよう、全国ネットが他の労働団体との橋渡し役を担う必要があります。そのためには現場での闘いがないとダメですね。先月、メトロコマースや大阪医大、郵政裁判の最高裁判決が示されましたが、個々の闘いを全体で支えながら他団体と連携する必要性をあらためて感じました。私も36年もユニオンや地域労働運動に携わってきましたが、先輩から任される仕事が増えるばかりです。浅野さんのように一緒に担ってくれる若い仲間を、闘いを通じてつくりたいと思います。

土屋みどりさん



スクラムユニオン・ひろしまの書記長、土屋みどりです。

中四国ネットの代表として、運営委員をやることになりました。よろしくお願いします。

8年前に、えひめユニオン、地域ユニオンとっとり、ユニオンおかやまと一緒に中四国ネットを立ち上げ活動してきましたが、コロナ禍の中で定期大会などの開催ができず、これまでのような十分なコミュニケーションは取れていません。しかし、労働者の相談は、県をまたいであるので、地域の連携を強化していきたいと思っています。

私自身は現在、外国人労働者の対応に追われる日々です。言葉の壁と格闘しながら、労働問題、生活問題、ビザなどの相談を受け、毎日が勉強です。運営委員の活動を通じ全体に貢献できるよう頑張ります。

春川広司さん



おきたまユニオンの春川広司です。総会で、コロナ禍の中で闘っている全国の仲間の姿を見て、同じ思いでつながっていると感じました。リモートで参加した、来賓のあいさつや各地のユニオンの報告も会場の大きなスクリーンに映し出されました。また、札幌地域ユニオンの取り組みでQRコード入りの名刺大のチラシを配った取り組みの報告もありました。それに韓国の非正規労働者ビデオメッセージもあり、全国と言わず世界で闘っている労働者の思いや工夫しながらの運動が各地で行われていることを実感しました。

私たちおきたまユニオンは、東北芸術工科大学の教員へのパワハラ裁判を闘っています。1年半に及ぶ団体交渉が和解寸前で決裂し、裁判が始まりました。全国の皆さんのご支援をお願いします。

全国の運動をつないでいくお手伝いができればと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

鶴丸周一郎さん



名古屋ふれあいユニオンの鶴丸周一郎です。

私の全国ネットワークとのかかわりは2014年の夏が始まりでした。コミュニティ・ユニオン東海ネットワークの交流合宿に来ていた岡本さん（事務局長）から、「刀事件のことを札幌で話してみない？」と声をかけられたのをよく覚えています。翌年の秋には本当に札幌の交流集会で話すことになり、その後も問題解決まで全国のみなさんから継続的なご支援をいただきました。

さて、コロナ禍において、たくさんの労働者が仕事を失ったり、あるいはこの情勢に便乗した不当な扱いを受けたりしています。こんな時こそ、わたしたちコミュニティ・ユニオンの意義が問われます。労働者の雇用と生活を守り、安心して暮らせる社会をつくるため、これからも力強いネットワークをつくっていきましょう。



1日8時間働けば誰でも人間らしく生活できる社会をめざして 各地で最低賃金闘争を展開！

2月によびかけをし、中央最低賃金審議会宛の全国署名に取り組みました。以下3項目を求めました。

①最低賃金を今すぐ全国どこでも時給1000円以上、速やかに1500円との答申を行うこと。

②中央、地方最低賃金審議会の審議をすべて公開し、低賃金で働く当事者を委員に入れること。

③最低賃金のスムーズな引き上げを実現するため、中小零細企業に対して特別な支援を行うなど、答申に盛り込むこと。

この署名運動にはCUNN以外の多くの労働組合、政党、個人も協力して取り組んでいただいています。コロナ感染拡大で街頭署名が困難になっていますが、ひとりでも多くの意思を集めるべく、ホームページ (<http://cunn.online>) でのWeb署名もできるようにしました。

6月22日、中央最低賃金審議会会長宛に提出しました。新型コロナウイルス感染拡大により街頭署名も厳しい状況でしたが、各地で一人ひとり集めた7806筆の署名を提出（その後も寄せられたため後日追加提出し、計8021筆）。あわせて要請を行いました。

中央最低賃金審議会は直接は受け取るようになっていないということで、厚労省労働局賃金課から2名が出席。こちらは、協力して頂いた参



議院議員福島みずほさん、共同代表の広岡法浄さん（ユニオンみえ）、運営委員の木村真さん（北大阪合同労組／関西ネット）をはじめ、オブ参加の全国ユニオン会長鈴木剛さん（東京管理職ユニオン）を含め東京／下町ユニオン、神奈川／よこはまシティユニオン、湘南なぎさユニオンから計10名が参加。署名の3点の要請事項を中央最賃審議会で反映させるよう要請しました。特に、「全国どこでも今すぐ1000円に！速やかに1500円の実現を！」と「審議会の公開と、委員への当事者の参加」を強く求めました。

終了後、厚生労働記者会で記者会見も行き、コロナ情勢下、一部経営者団体から引き上げ抑制の声が出ていることに対して、「今だからこそセーフティネットとしての最賃の大幅引き上げを！地域間格差の解消を！」と訴えました。

各地での署名活動、本当にご苦労様でした。全国ネット以外の労働組合、団体、個人からもご協力頂きました。みなさまに御礼申し上げます。引き続き、1日8時間働けば誰でも人間らしく生活できる社会をめざし最賃闘争を展開しましょう！

京都

ユニオンネットワーク京都は、10月12日午後6時より、京都タワー前で最賃情宣を行いました。最低賃金引き上げと全国一律最低賃金制がなぜ必要なのか、また、職場に労働組合を作ろうとの呼びかけとビラ配布を行いました。近隣府県の最低賃金を一覧で示したパネルは注目度も高く、信号待ちの間にじっくり見る人たちの姿もありました。



東京

10月25日、下町ユニオンは、最低賃金大幅引き上げキャンペーンに取り組みました。『生活できる賃金を! 最賃全国どこでも時給1500円!』を掲げて、JR錦糸町駅北口、JR小岩駅北口で宣伝。快晴で人通りも多く、用意した500枚のビラも配布できました。



兵庫



10月26日、兵庫県パート・ユニオンネットワークは、JR尼崎駅とJR明石駅で、「最賃いますぐ1000円に! 1500円を目指そう」のターミナル宣伝行動に取り組みました。JR尼崎駅には32人が参加し、500枚のビラを1時間足らずで配布。JR



明石駅にも15人が集まりました。最低賃金の引き上げとともに、同一労働同一賃金を求め、労働組合と一緒に闘おうと呼び掛けました。

10月29日には、JR姫路駅南側にて最賃引き上げ宣伝行動を行いました。

賃金差別を容認した最高裁判決、糾弾！

●須田 光照（全国一般東京東部労組書記長）

東京メトロ駅売店の非正規労働者で作る全国一般東京東部労組メトロコマース支部が正社員との賃金差別を撤廃させるために闘ってきた裁判の上告審で、最高裁は10月13日、非正規労働者への退職金の不支給を容認する差別判決を言い渡した。

最高裁は今年7月に組合側の上告の大部分を不受理とすることで、住宅手当など一部を除いて基本給や賞与の著しい差別を容認する決定をすでに下していたため、この日の判決は、正社員の4分の1のみの支払いを東京高裁が非正規労働者に認めた退職金支給の是非に絞られていた。

これについて最高裁は、退職金は正社員と同額支払うべきだという組合側の上告を棄却し、4分の1という差別的な低額支給どころか、非正規労働者の原告らには退職金を一切支払う必要がないと判決した。

判決は、退職金について「労務の対価の後払いや継続的な勤務等に対する功労報償等の複合的な性質を有する」としつつ、「正社員としての職務を遂行し得る人材の確保やその定着を図るなどの目

的」で退職金は支給されるものだと決めつけた。

これでは旧労働契約法20条が定める有期契約労働者の労働条件が不合理かどうかの判断などあったものではない。要するに、正社員だから払う、非正規労働者だから払う必要がない、としか言っていないのだ。基本給、賞与、退職金という賃金の大部分を構成し、他の企業への影響も大きい、いわば差別の「本丸」には触れさせないという「結論ありき」の判決である。

判決後、裁判所の門前では組合員が「不当判決」の旗を出し、「非正規2千万人の期待を裏切るものだ」と、怒りの声を上げた。報告集会でも、組合員は「私たち非正規の価値は4分の1どころかゼロということか。最高裁は、最低裁判所だ」と糾弾した。

東部労組は執行委員会声明を発し、最高裁判決を「資本家どもを小躍りさせる差別の扇動」と徹底糾弾するとともに、非正規労働者自身の団結と闘いによる労働組合運動の力で差別撤廃まで闘いを断固続けていく決意を明らかにした。



東京地裁が不当判決！ 今後は高裁での闘いに

●斎藤 隆靖（ユニオンネットお互いさま執行委員長）



2018年3月31日、組合員Oさんは、無期雇用転換権が発生する前日に、派遣時代を含め7年半勤めた日本通運から解雇された。東京地裁に提訴して2年半。今年10月1日、この「無期転換逃れ地位確認等請求事件」に対する不当判決があった。コロナ禍の中で傍聴は制限され、傍聴者にも聞き取れないほどの声で不当な判決の言い渡しがあり、地裁正門前に戻り、裁判の不当性を訴えた。

本件判決での棄却理由は、「労働契約の契約期間は通算5年10ヶ月、有期労働契約の更新回数は7回に及ぶものの」としながらも、労契法19条1号・2号には該当しないとした内容だ。

不更新条項については、8回の契約で期待が消えてないとしながらも、判決理由とした業務失注により期待が消えた、更に、全日通労組が伝えたはずだとする結論ありきの事実認識は矛盾だらけである。そして、本訴訟の最大の争点ともいうべ

き労契法18条の潜脱については、原告は5年を超えていないという一言で切り捨てており、日本通運が全社的に行った無期転換逃れには触れようともしない不当な内容である。

不当判決に対し、「何よりも許せないのは、有期契約労働者をどんなに使い捨てにしてもいいと解釈できる内容が書かれていたこと」とし、1万人もの署名をいただいたことを支えに、原告本人も決意し、高裁に控訴した。

今後は高裁での闘いとなる。会社自身が団体交渉では業務失注がなくても、Oさんの雇用は3月31日までと明言している。同時に、全日通労組はOさんに伝えておらず説明責任さえもない合意であることを明らかにし、全社的に行った労契法18条の潜脱を目的とした無期転換逃れを明らかにしていく。高裁でも皆様のご支援をお願いします。



●名古屋ふれあいユニオン

へきかいこうき

碧海工機の闘い

碧海工機株式会社は、愛知県西尾市にある自動車部品製造会社。製造しているのはエンジンやステアリング関連の鋳物製品が中心で、取引先はスバル、スズキ、ジェイテクトなど。2020年4月、この会社で100名規模の契約社員（ほとんどが日系ブラジル人）雇い止めの方針が出された。

■大規模雇い止め方針

大規模雇い止め問題が起こる前から、当労組は一部の組合員の雇い止め問題について碧海工機と団体交渉を行っていた。そして、4月の交渉の中で、契約社員大規模な雇い止めの方針が明らかになった。コロナにより雇い止めの相談は増えていたが、その多くは派遣社員だった。しかし、碧海工機で雇い止めの対象になっていたのは直接雇用の契約社員であり、しかもその中には、5年以上契約を繰り返してきた労働者も数多くいた。

■闘う分会を組織

社内では総務担当者や管理会社（派遣会社が労務問題を請け負っている）が契約社員に対し、契約終了に同意するようサインを求めている。こうした中、組合員数名が周囲に働きかけ、対象者100名のうち30数名が当労組に加入、ともに闘うことにした。

■団体交渉

5月の団体交渉では、会社は5年以上雇用している労働者についても雇い止めの方針を貫いた。会社側から出席したのは常務と総務室長、社労士、通訳の4名で、社長はいない。話しぶりから、出席者はこの決定を論理的に考えているとは思えなかった。社長のワンマンな判断でこの事態に至っているのだろう。会社側の言い分は、「取引先の生産がストップして今後の見通しが立たない」とのこと。雇用維持が会社の責務なのに、助成金の活用等についてもあまりにも鈍感。



■抗議行動と総領事館要請、その後の交渉

強行姿勢の会社に対し、6月と7月に抗議行動を行った。ユニオンみえからも支援があり、行動は非常に活気に満ちたものになった。また、6月の行動日には、在名古屋ブラジル総領事館を訪問し、日系ブラジル人の大量雇い止め問題解決に向けて支援を要請した。すると、会社に対し雇用継続の要請書を送付していただいた（品位ある文章には感心）。

6月以降の団体交渉では、5年以上の者は無期雇用とすることが確約された。当然。5年未満の者については、3年未満は7月末（その後の交渉で8月末まで延長）、3～5年は9月末まで暫定的な雇用延長。一方、組合員への雇い止め通告と並行して、会社が7月以降、派遣社員や契約社員を新たに雇用するという不可解な動きが発覚。なんと、会社は組合員排除を画策していた。

■今後

現在、最終的に組合に残っている20数名のうち、8名は8月末と9月末で雇い止めとされた。しかし、うち5名は今後もギリギリで生活維持しながら「最後までたたかう！」と、裁判や労働委員会での闘争に入る。全国のみなさん、移住労働者／非正規労働者への理不尽な扱いを変えていくためにも、彼らの闘いに対し熱い応援と連帯を求めたい。

【鶴丸周一郎／執行委員長】